

学力向上フロンティアスクール取組事例

(都道府県 福島県)

- 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発
- 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
- 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善

・学校の概要（平成14年4月現在）

福島市立森合小学校										
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	4	3	4	3	3	3	0	20	26	
児童数	104	105	125	113	101	116	0	664		

・実践研究の概要

- ・主題（テーマ） 「確かな学力」を育て、学ぶ意欲を高める
- ・テーマ設定の趣旨
教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間……いかなる教科・領域を研究対象として選択し、いかなる研究テーマを掲げようが、わたしたち教師が背負わなければならない研究の最終目標がある。

できないことができるようになり、分からないことが分かるようになり、「先生っておもしろくて楽しいね」と、子ども一人一人が実感できる事実を創り出していく

ことである。

できないことができ、分からないことが分かる知的充足感は、その後の学習に対する動機付けを高め、子どもの学ぶ意欲を高揚させていくと思われる。

そのためには、児童の学力の実態を把握することはもちろん、わたしたち教師一人一人がこの主題（テーマ）を達成するための課題を自覚することが必要と考えた。

教師自身が「自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断しよりよく問題を解決できる資質や能力」を発揮しながら課題を解決していくことによって、主題を達成することを願った。

・実践研究の内容について

() 研究体制の工夫

研究テーマは、「客観的なデータ化（数値化）」で達成度が判断できるようにした。

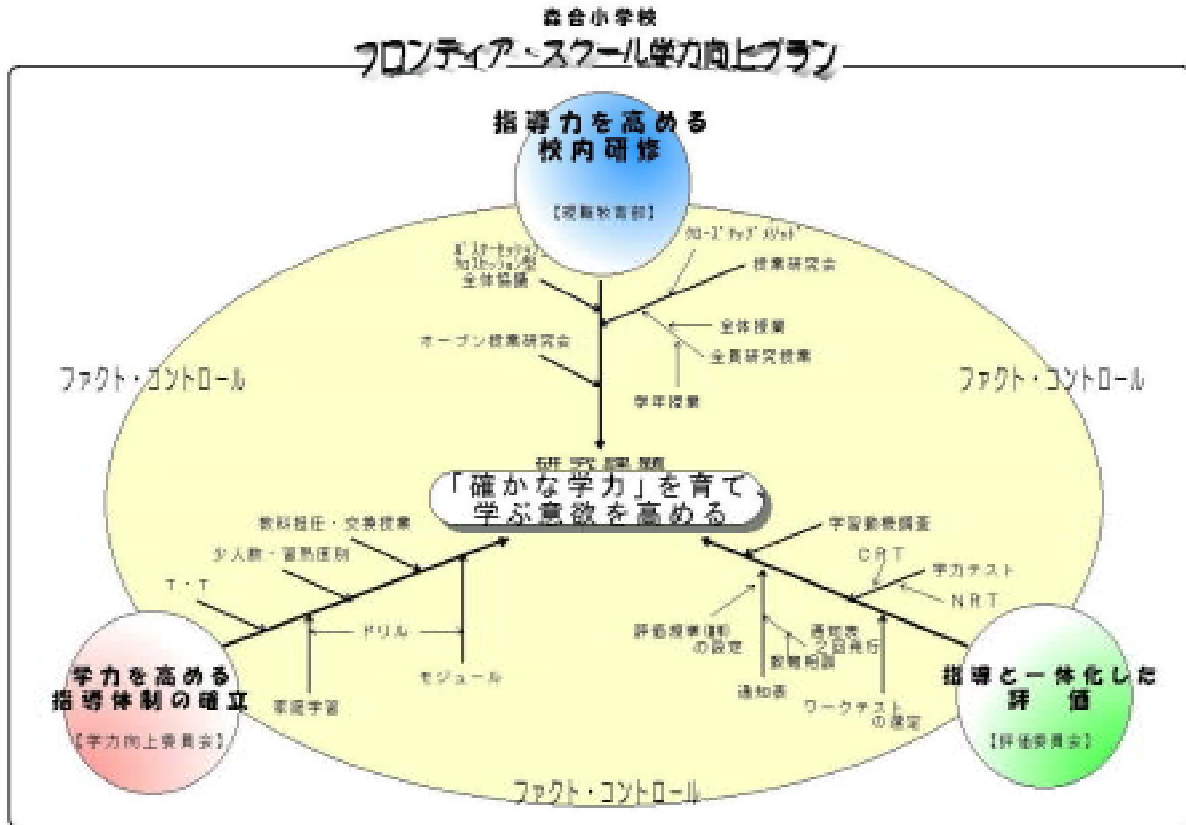
「確かな学力」を育て……学力テストC R Tの実施・比較分析・考察

「学ぶ意欲」を高める……意識・学習動機調査の実施・比較分析・考察

「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」にあたっては、校内に

「学力向上委員会」を設置し、研究を推進した。

他の組織との関係、位置づけについては、下図の通り。



() 実践研究の内容

高学年における一部分教科担任制の導入

- ・社会、理科、音楽、図工、家庭、体育の6教科については、高学年担任の専門性を生かし、教科担任制を導入した。

モジュールタイムの効果的な運用

- ・午後の5校時前に「25分間」のモジュールタイムを設定し、スキル・ドリル的な学習の場を設定した。また、5校時と合わせて「70分授業」を実施できるようにした。

少人数指導に向けた学習集団編成による指導、TT方式による指導の工夫

- ・単元末に「補充・復習」のコースと「深化・発展」のコースを設定した。理解不十分な児童には基礎・基本の確実な定着を、理解の進んだ児童には自分の興味関心に応じて発展的な学習に取り組めるようにするため、自己評価による選択学習を取り入れた。

() 成果と課題

成 果

- ・一部教科担任制を導入した結果、教師一人一人の専門性を生かした授業づくりができ、より多くの子どもの要求に応えた授業を展開することができるようになった。また、同じ場面を繰り返し指導する中で指導の改善が行われ、教師の指導力を高める研修としての機能も高まった。
- ・モジュールタイムでは、単にドリル・スキルの指導だけでなく、学習の進め方や教科学習を支える学習技能の指導もできるようになった。また、総合・理科の実験・書写等では、ゆとりある中で子どもの学び、思考に合った指導ができるようになった。

- ・少人数指導においては、児童自らが課題を選択できるようにすることで自分の目標が明確になり、より主体的に学習に取り組もうとする姿が見られるようになった。

課 題

- ・教科担任制の一層の推進のためには、指導者の出張や年休にいかに対応できるか、教員の組織運営の改善が必要である。
- ・モジュールタイムのよさを生かした各教科・総合の年間指導計画を作成していくことで、指導効果をさらに高めていかなければならない。
- ・少人数指導において児童が課題を選択する場合、学習集団の人数にばらつきが生じやすく、現実的に少人数にならない場合が多い。課題やコースの内容、教材の数については、さらに検討が求められる。
- ・評価基準については、コース単位の基準レベルをどう設定するか、学習途中でコースを変更した児童の評価のあり方等、さらに検討が必要である。

() 成果の普及方法

校内研修会の門戸を開いた「オープン研修会」を年間3回開催した。近隣の小中学校教員に参加を呼びかけた。

第1回オープン研修会

日 時：平成14年6月26日（水）14：15～16：15

場 所：森合小学校（多目的ホール）

テーマ：学力テスト・知能テストをこう生かす

対 象：近隣（北部地区）の小中学校教師

第2回オープン研修会

日 時：平成14年7月17日（水）13：30～16：15

場 所：森合小学校（多目的ホール）

テーマ：大学の先生が授業を公開「事実で示す学力論」

対 象：近隣（北部地区）の小中学校教師

第3回オープン研修会

日 時：平成15年2月7日（金）13：30～16：15

場 所：森合小学校

テーマ：「確かな学力」を育て、学ぶ意欲を高める授業

対 象：県内外の教師（151名の参加者）

内 容：国語科（3学級）・算数科（6学級）の授業公開
ポスター・セッション形式による分科会
6名の助言者によるご指導

() その他

本校では、「指導と評価の一体化」の一層の充実をめざし、平成14年度より「通知表」による成績通知を年2回（10月と3月）にした。また、成績通知前の7月と12月に全保護者を対象に「教育相談」を実施している。

通知表における成績通知は「成績証明としての評価」として、教育相談における成績通知は「励みとなる評価」として、その機能を分離・明確化した。